

敷島北小学校 学校関係者評価書（前期）

平成21年8月5日（水）

敷島北小学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：平成21年 7月16日（木）午後7時～

会 場：敷島北小学校会議室

参加者：学校関係者評価委員 磯村 修 横山英麿 桜井みどり 新津 健
石橋浩二 大久保智勇 河野勝彦(欠) 保延昇一(欠)

学校側 校長：相川芳廣 教頭：古屋宗久 教務主任：小川啓介

I 学校側から提案された内容

◆ 自己評価結果から改善すべき事項と改善策

- ◇ P D C Aサイクルを意識した具体的な行動計画の作成
- ◇ 教職員のメンタルヘルス
- ◇ 危機管理マニュアルの徹底
- ◇ 教材教具の研究
- ◇ キャリア教育の全体計画の作成
- ◇ 進んで発言できる授業の工夫

◆ 児童のアンケート結果から改善すべき事項と改善策

- ◇ 困ったときの相談体制の確立
- ◇ 自主学習の習慣化
- ◇ 親子読書の一層の取り組み
- ◇ あいさつ運動の一層の取り組み

II 協議された主な内容

◇ 挨拶運動の一層の取り組み

- ・ 学校での指導と同時に地域での呼びかけ、大人から声を掛けつづけることも必要。
- ・ 家庭での「おはよう」からはじまる。人間のコミュニケーションのはじまりなので、家庭でのしつけが肝心。

◇ 児童のアンケートでC評価D評価の比率が高い項目

- ・ C評価D評価を出した子ども達へのフォローをしっかりとしてほしい。
- ・ アンケート以外でも子ども達の様子がキャッチ出来るように。特に「いじめ」や「不登校」で先生方が小さなサインを見逃さないように。
- ・ 教師と児童の意識のズレを感じる項目については、コミュニケーションを大切にして、児童と向き合う指導をお願いしたい。

◇ 学校評価の取り組みに関して

- ・ アンケート結果の分析やグラフ化など、大変な労力がかかるが、これらを活かして学校の改善につながるように、評価委員も応援したい。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

全体的に、教職員が学校教育目標や教育方針をよく理解しており、校長の示す経営方針に沿った教育活動を展開しているので、保護者、地域から信頼される教育活動が推進されていると評価できる。

児童のアンケートから「学校が楽しい」「授業が楽しい」「授業がわかる」「わかりやすく教えてくれる」と言った項目のA評価が増えていることから、日々の取り組みの成果がよい結果につながっていると考えられる。今後も学校の地道な努力が望まれる。

学校の内部評価である「学校評価」は、適正に実施分析されており、児童一人一人が充実した学校生活を送るための工夫改善を、職員一同が力を合わせて行っていることが伺われる。

II 特 徴

教員の評価では、D評価をつけた項目は一つもなく、C評価も12項目だけであった。個々の教員が高いモチベーションをもって日頃の教育活動に当たっていることが分かる。

児童のアンケート結果は、昨年度よりよい結果になっており、A評価B評価が増え、C評価D評価が減少した項目が多く見られた。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・児童のアンケートは、全体的によい結果となっているがC D評価がついた項目については、日常の観察をしっかりと、児童一人一人に応じた対応をお願いしたい。
- ・教職員数の減少で、教員個々の仕事量は増加している。健康管理に十分留意し仕事を続けて欲しい。
- ・学校は集団教育を中心にしたものではあるが、個が活かせるような活動も必要なので、その取り組みもお願いしたい。
- ・「授業がわかる」「相談をよくする」等に対して教師と児童で意識のズレを感じる。コミュニケーションを大切にした授業や指導をお願いしたい。

記載責任者 敷島北小学校 学校関係者評価委員 大久保 智勇 印